

大田圏域(農業)プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成24年度)

達成状況判断基準:100%以上→「達成」、80%以上100%未満→「概ね達成」、80%未満→「未達成」

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率					達成状況	
			項目名	H24目標	H24実績	単位	達成率		
共地 -1	地域ぐるみの 獣害対策 推進プロ ジェクト	・地域全体での対策推進 3町ともに概ね計画通りの取組が実施された。3町の連携を図り、より濃密な取組に努める必要がある。	獣害対策(追い 払い活動や侵入 防止柵の設置 等)に集落全体 で自主的に取り 組む集落数	12	11	集落	92%	概ね達成	
		・地域ぐるみ対策の推進 集落なり地域の実情に応じて各々対策に取り組まれた。サル・イノ シシ等の獣害は7月以降増加したが、追い払い対策等の実施集落 では一定の防止効果をあげている。	獣害を受けにくい品目や栽培方法への誘導 4品目の実証は調査に取り組んだ結果、獣害が減収に繋がった事 例は無かったが、今後、収益性・労働時間等を勘案し、提案を行う 必要がある。	20	19	ha	95%	概ね達成	
大田 -1	「おおだ」で 作り「おお だ」で食す 地産地消推 進プロジェ クト	・消費者の求める、生産者の顔の見える新鮮な地元産野菜を供給 する拠点として産直市場を整備し、市民へ地元産野菜の情報を提 供すると共に、地元野菜の市内消費拡大と、その生産体制の拡大 を目的に、様々な活動に取り組んだ。	産直市での地元 産品の販売金額	125,000	110,574	千円	88%	概ね達成	
		・また、生産者組織の出荷体制(出荷者協会の一本化)の見直し や、生産施設の整備に取組むとともに、栽培指導にも取組み生産 者数の増加、生産量の増加に努めた。	学校給食での大 田市産農産物利 用割合(品目)	18.5	43.0	%	232%	達成	
		・さらに、産直市場での定期的なイベントの開催や、生産者等によ る試食販売等のイベントに取り組む、地産地消の取り組みを広く市 民へ周知するよう努めた。	産直出荷協議会 会員数	240	255	人	106%	達成	
		・一方、学校給食への供給についても、関係者との定期的な協議 に取り組む、目標の利用率を既に達成することができた。							
大田 -2	石見銀山和 牛ブランド 生産流通	・その結果、産直市場全体での当期までの販売額は前年度に比較 して僅かではあるが増加したが、春先の低温、7、8月の高温等の 影響もあり目標数値は下回った。							
		・今後は、更に消費者ニーズに対応するため、生産施設の整備に より端境期、冬場の生産振興に努め、更に生産、販売の拡大に取 組む必要がある。							
		・繁殖牛について、H24年度上半期全共対策におわれた。結果は 1等賞1席と期待通りの結果とはならなかった。	対島根県中央子 牛市場価格比	95	97	%	102%	達成	
大田 -3	持続可能な 水田農業の 確立と地域 資源の活用 プロジェクト	・温泉津、富山でアドバイザー同行した巡回指導が開始されたり、 県外導入牛の産子が、子牛市場に上場された結果、市場比は目 標を上回った。	石見銀山和牛肉 販売頭数	10	12	頭	120%	達成	
		・銀山和牛肉については、新たに3業者との取引が開始された。し かし業者が希望する量の確保が、課題となっている。							
		・道路刈草ロール生産配布は、ラッピング不可で、今年は1戸利用 が減った。							
大田 -4	地域アグリ ビジネスの 推進による 邑智郡農業 の活性化プ ロジェクト	・放牧について今年立毛放牧の実証圃を新たに設けた。							
		・個々の課題については、それなりの成果が上がりつつあるが、協 議会総会、運営委員会が開催できておらず、次年度運営方法が課 題である。							
		・担い手に関しては、各地での新規就農の誕生など明るい話題が あるものの、集落営農設立の鈍化や集落営農オペレーターの高齢 化など、その対策が急務なものもある。	サポート経営体 (集落営農)育成 数(累計)	1	1	カ所	100%	達成	
大田 -4	地域アグリ ビジネスの 推進による 邑智郡農業 の活性化プ ロジェクト	・水田転作での生産振興は、土地利用型については大きな動きが ない。今後転作が増加する見通しのため、当面WCS稲の増加対策 を図る必要性がある。	水田転作におけ る戦略・振興作 物等の生産面積	150	165	ha	110%	達成	
		・耕畜連携の核となる堆肥施設の整備に関しては、当初計画時に 想定していなかった問題が出てきているため、課題の見直しを含め た検討が必要と思われる。	堆肥化施設(広 域型)の整備(累 計)	0	0	カ所	-	-	
		・悠邑アグリビジネスネットワークを設立し、ネットワークに加入した 28団体と共に連携し安心安全なものづくりや加工など)6次産業化 を推進する体制が整った。	直売組織の販売 額	330	330	百万 円	100%	達成	
大田 -4	地域アグリ ビジネスの 推進による 邑智郡農業 の活性化プ ロジェクト	・既に、地域内での生産、加工、販売のコラボや販路の拡大などの 事例が出てきている(垣崎醤油と美郷町の鮎、垣崎醤油とブルー ベリーソース、美味しまね認証卵の域内の販路拡大など)。	トレスシステムの 導入	仕様検討	仕様決定	-	100%	達成	
		・また、会報の発行(5回)によりネットワーク会員が行った視察の事 例や、食品衛生の注意喚起など迅速な情報提供ができるように なった。							
大田 -4	地域アグリ ビジネスの 推進による 邑智郡農業 の活性化プ ロジェクト	・安全・安心なものづくりの推進については、エコファーマーの増加 や、エコロジー農産物コーナーの設置など消費者へのPRも出来る ようになった。なによりも、生産履歴提出に取り組もうとする生産者 の意識が高くなっており、説明会への出席数や、他の直売所から の関心の高まりなど波及効果が見られる。							